



第9回 香木会書展

と き:平成24年12月7日(金)~9日(日)

と ころ:岐阜市文化センター3F

第9回香木会書展のテーマは、「冬色の書」でした。第6回展を春に開き、夏、秋と隔年で開催してきました。そして今回最終章「冬」に開催となりました。

毎回作品以外に会員全員で同じ題材で表現しています。春にはレース紙とビニール素材を使用しました。夏はガラスを削ったり書いたりしました。秋には大きなものから、小さなハガキ大まで自分達で軸装に仕立てました。今回展は手ぬぐいを各自で染めてから、そこに黒の絵具で写し取った書を丁寧に塗っていきました。

そして、今回皆が楽しくて夢中になってしまったのが、箱で表具をすることでした。箱の中にハガキや、染めた紙を裏打ちして張り込むものです。張り込む時に、間に発泡スチロールを挟むと浮き出した表具になります。それを基本に紙だけではなく、木のお皿やレース等いろいろ組み合わせて本当に楽しみました。皆さん、だんだん箱を見るとストレスが溜まるほどでした。

また、会場で3日間とも1時から書のパフォーマンスをさせていただきました。今回で2回目となりますが前回と同様に集団で1枚、私、佐々木1人で1枚を書きました。東日本大震災の被災地に届いた世界中からの支援に感謝した、被災者の方々の詩「ありがとうの詩」から「あなたがいたから」と「ふるはな」を書かせていただきました。新聞でもカラーで大きく写真も載せていただきました。皆さんパフォーマンスを目当てでいらっしや、一時には会場が大変混雑しました。

子供達も作品、箱作品、金子みすゞの詩作品と3点も出品してくれました。最後になりましたが、東海創玄の先生方も川合玄鳳代表始め、遠い所をお越し頂いて、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(佐々木香魚 記)